

ハナカジカ

Cottus nozawae

カジカ科



ハナカジカ

名前の由来

「ハナ」は不明（体側の模様か胸ビレを花に見立て、「花のよう」としたのか?）「カジカ」は「川鹿」の意で、鹿のように美味しい魚だから、との説がある。漢字名：花鰈

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種)
草花

(外来種)
草花

哺乳類

(水辺)
鳥類

(草原・樹林)
ワシ・タカ

特定種

北海道レッドデータ…留意種(N)

…絶滅のおそれのある地域個体群(LP)に指定されている

(「東北地方のハナカジカ」が国のレッドリスト (2007)

形態的特徴

全長15cm。正面から顔を見ると横長に広がった形をしており、背ビレは2つ。体側に4個の暗色の斑紋がある。

えらぶたの後縁に3本の棘があるが、背側の1本の先端は少し湾曲し鈍い。



横から見たハナカジカ

類似種と見分け方

エゾハナカジカ・カンキョウカジカ。

エゾハナカジカの胸ビレの軟条（スジ）数は15～17本であるのに対し、ハナカジカの方は13～15本と少ない。

またエゾハナカジカの尾柄はより細い。（エゾハナカジカ

はふ化後すぐ海に下り、稚魚に成長して川に戻る）

ハナカジカの成魚では、胸ビレの軟条（スジ）の先が分かれているが、カンキョウカジカのものは分かれぬ。

一生

産卵期は4～6月。約半月でふ化後、卵黄を付けた仔魚は、すぐ巢内の礫間で底生生活を始める。卵黄吸収後稚魚となって分散、河岸の浅瀬で小型水生昆虫を食って暮らし、その後1年目の秋まで平瀬の礫底に分散して過ごす。メスの

多くは2年、オスは3年で成熟する。寿命は不明。

生活サイクル

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
産卵期				■									
孵化期					■								
幼魚期	■												
成魚期				■									

メス2年、オス3年で成熟

寿命は不明

生息環境・分布

中・上流域で平瀬の礫底や蛇行型の淵に多い（エゾハナカジカがない川では下流域にも）。日中は石の下などにひそみ、夜間活動して摂餌する。一生を川で暮らす。

分布：北日本特産種だが、サハリンに分布する可能性も。国内では北海道、青森・秋田・岩手各県の一部に分布。北海道ではほぼ全域に分布する。

食性

肉食性かつ貪食。石に付着する水生昆虫が主な餌。他に流下昆虫、小型底生動物、サケ卵など。夜間餌を採る。

繁殖生態

産卵期は4～6月。産卵場所は普通の生息場所よりも流れが緩やかな平瀬で、より大型の礫石が散在するところ。（石の大きさはオスの大きさによって決まるという）オスが浮き石の下に巣をつくり、なわばりを張る。オスは1尾ないし複数のメスを誘って産卵する。卵は直径約3mm、産卵数は100～700個。水温10℃の時15～16日でふ化。産卵後オスは巣に残り、侵入者を攻撃し、胸ビレであおつ

十勝の河川に広く分布し最下流部にも生息するが、中流域から上流域に多く見られる。河床が礫質の細い支流にも多く分布する。

て水を送り、口や尻ビレで掃除するなどして、ふ化まで卵を守るという。

他生物との関わり

不明。

興味深い話

■十勝地方のアイヌ語では「パケポロ」と呼ばれる。どちらかというと釧路地方の文化圏に属していた足寄では「エソッカパ」と呼ばれていた。

■類似種のエゾハナカジカは、以前はハナカジカの「小卵型」あるいは「降海型」とされていた。

■ハナカジカは、一生を河川で暮らす、カジカ科の魚類（約300種）のほとんどは海水魚か、一生のうちの一部を海で暮らす。このことからカジカ科の魚は海洋起源であると考えられていて、ハナカジカも、エゾハナカジカからか、エゾハナカジカの祖先から種分化したと考えられるという。



ハナカジカ

配慮事項

水温に左右されやすく、現在では河川の上流域に生息することが多い。湧水が多い河川では夏場の水温も低いため、中流でも生息している。（妹尾優二）
生息場所として礫底を必要とする。産卵は浮き石の裏面に

おこなわれるが、産卵場所の石の大きさはオスの大きさによって決まるという。また産卵場所は深さ30cm程度で、表面流速0.1～1 m/sec.の所だという。

参考文献

「北海道の淡水魚」稗田一俊、北海道新聞社 1984
「山溪カラー名鑑 日本の淡水魚」川那部浩哉・水野信彦 編・監修、山と溪谷社 1989
「検索入門 川と湖の魚②」川那部浩哉・水野信彦、保育社 1990
「原色日本淡水魚類図鑑」宮地傳三郎・川那部浩哉・水野信彦、保育社、1963（1976全改訂新版）

「川の生物図典」奥田重俊・柴田敏隆・島谷幸広・水野信彦・矢島稔・山岸哲 監修、(財)リバーフロント整備センター編集、山海堂、1996

「知里真志保著作集 別巻Ⅰ 分類アイヌ語辞典 植物編・動物編」知里真志保、平凡社 1976

★ 妹尾優二：(株)エコテック、流域生態研究所

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種) 草花

(外来種) 草花

哺乳類

(水辺) 鳥類

(草原・森林) 鳥類
ワシ・タカ